

請願第4号 学費負担軽減を求める請願

こども未来局(こども企画課)

1 請願項目

- 1 千葉市独自の給付型奨学金制度の創設をすること
- 2 千葉市独自の学生向け家賃補助制度の創設をすること
- 3 学生への食料や日用品等の物資による支援を行うこと
- 4 国や県に学費無償化と負担軽減を要請すること

2 本市の考え方

(1) 千葉市独自の給付型奨学金制度の創設について

(2) 千葉市独自の学生向け家賃補助制度の創設について

高等教育費の負担軽減については、令和2年4月より「高等教育の修学支援新制度」として、大学等の授業料等減免及び給付型奨学金を実施している。

令和5年12月に閣議決定された「こども未来戦略」における「こども・子育て支援加速化プラン」の中では、授業料等減免及び給付型奨学金の中間層への拡大や多子世帯の授業料無償化など、当該制度のさらなる充実が示されている。

また当該制度の給付型奨学金の中では、学生等本人が家賃を負担している場合に「自宅外通学」として認められ、「自宅通学」より高額な奨学金が給付されている。

このため、現時点において本市独自の給付型奨学金制度及び学生向け家賃補助制度の創設は考えていないが、引き続き、必要な情報提供や相談対応に努めていく。

(3) 学生への食料や日用品等の物資による支援について

コロナ禍による収入減等を踏まえ、令和3年8月、千葉市等にキャンパスが所在する私立の大学と短期大学が参画している「ちば産学官連携プラットフォーム」と「フードバンクちば」に協力を呼びかけ、以降、年に数回程度、学生への食料等支援が行われている。

今後も状況に応じ、支援機関のマッチングなど、必要な支援を検討していく。

(4) 国や県に対する学費無償化と負担軽減の要請について

高等教育費の負担軽減については、本来、国が対応すべき課題であり、「こども・子育て支援加速化プラン」において「高等教育の修学支援新制度」のさらなる充実が示されていることから、引き続き、国の動向を注視していく。